

町政懇談会

5月12日から17日にか

けて、町内4会場で町政懇談会を開催し、多くの皆さまのご参加をいただきました。

その概要として、いただいたご意見などの一部をご紹介します。

5月12日 旧中川小学校
(参加者31名)

○松崎新港の防波堤でまた釣りができるようになることは大変素晴らしい、町民も望んでいたことだが、料金が高く、予約方法、決済方法も難しく、町民のことが考えられていないと感じる。観光収入のために町民を置き去りにしないようにしてほしい。

(企画観光課長) 今回の海釣りGOは、観光資源の活用を目的にトライアルとして実施する。今後の利用方法については、トライアル後

に検討していく。

○鮎川の基盤整備事業における非農地部分の活用について、防災公園などの話は聞くが、具体的な計画はまだ出てない。時間がない中でどう計画を立てていくのか伺いたい。

(町長) 非農地部分については、町が買い取り、防災公園としてヘリポートを作る予定でいる。また、有事の際だけでなく普段使いのできる防災公園として、いろいろな形で意見を聞きながら、スケジュール感を持つて検討したい。

○松崎町の人口は年間で1000人程度減っている。松崎町の維持のためには子どもが大切である。若い世代が安心して子どもを産み育てることができる、よそに出て行かない、出て行った

人も戻って来て生活できる環境づくりが必要だと思う。(町長) 子どもを増やすことは非常に難しい問題である。仕事はないわけではない、いろいろな業種で人手不足であるが、選べる仕事がない。例えば、介護と農業というように新しい働き方が求められている。地域で暮らす、子どもを育てるといふことを地域でつくっていくことが必要だと思う。

(教育長) 中高連携教育を17年行っているが、合言葉である、「西豆の子は西豆で育てる」に加え、現在は「西豆に貢献する」ということを意識している。西豆での就職や一度外に出た方が戻ってきてくれるという視点を持って取り組んでいる。

5月13日 旧岩科小学校
(参加者22名)

○お金がないと何もできない。ふるさと納税はまだ成長産業のように思うが、ただ募集をしていますという

だけでは伸びない。町としてふるさと納税を柱とする施策が必要だと思うがいかがか。

(町長) 隣町や賀茂郡内でも比べられることが多いが、松崎町は加工場がないのが弱いところ。ただ、まだまだ埋もれているメニューがあると思うので、皆さんからもご意見いただきたい。また、伸びている自治体には専門のコンサルが入っているため、業者など調査しているところである。

(企画観光課長) 地方創生人材支援制度により民間から来てくれる方を中心に、ふるさと納税を伸ばしていくための施策を検討している。

○耕作放棄地が増えているが、こちらにいない人や全く草を刈ってくれない人の対処はどのようにしているのか。

(産業建設課長) 農地は、所有者の責任で適切に管理しなければいけないと法でう

たわれているが、そうはいっていないのが実情である。農業委員会では、周辺の耕作されている方に支障がある場合は、言ってもらえれば、所有者に適切な管理をするよう話をしている。また、農業委員会で毎年意向調査をしており、多くの方が貸してもよいと答えるが、借り手がいなくて結果放棄のままとなることが多く難しい。農地法上の管理責任があるということはご理解いただきたい。



▲5月13日 旧岩科小学校

5月15日 石部公民館
(参加者23名)

○石部地区で、同報無線が聞こえにくい件についてはどうなっているか。

(総務課長) 石部地区の同報無線については、ご迷惑をおかけしており、大変申し訳ございません。石部地区には3本の電波を受信するパンザマストがあり、一番上のパンザマストで受ける電波が弱く、受信できないこともあるため、下のパンザマストに電波が発信できない状況がある。5月29日にアンテナの取替え工事を行い、受信状況を確認する。回覧文書をまわしているのをご確認いただきたい。

○雲見の4階建ての建物の壁が道路側に落ちて危険な状態だが、町は個人の建物なので必要最低限しかできないと、板を付けただけである。先日も人に当たったら死んでしまうようなものが落ちてきていた。町は所

有者に話はしていると言うが、法律関係で進めることはできないのか。

(産業建設課長) 所有者がいる限り所有者の責任がある。静岡県下田土木事務所が建築基準法に基づき指導をしている。最終的には裁判というところかもしれないが、次のステップに進むかどうかは、県の判断になる。

○雲見の防潮堤の件についてはどうなっているか。継続事業であるのか、継続事業でないのかをお答えいただきたい。

(町長) 継続事業である。

○1市3町の広域ごみ処理施設の進捗状況を教えてください。

(生活環境課長) 昨年の12月に物価高騰の関係で、下田市から再検討したいと話があり、4月にある程度まとまり、5月に首長が集まる運営会議でこのまま進めようという予定だったが、

今度は南伊豆町から検討したいという申し出があった。5月末までに南伊豆町の結論が出るので、その回答を待つて進め方を検討していく。

5月17日 環境改善センター
(参加者24名)

○町は下田メディカルセンターに補助金を出しているが、多くの方は西伊豆病院に行っている。西伊豆病院は民間なので採算が合わなければ撤退してしまうが、補助は考えているか。

(町長) 人口が減ることにより、病院に行く人も減っていく。救急車を100%受け入れている病院は、賀茂地域では西伊豆病院だけであり、貴重な病院である。経営者の方含め、関係者の皆さんと撤退しないようお願いをしていく。

○町からの回覧板が月に4回から5回あり、区長、班長、区民の負担になっている。情報はホームページで

閲覧できるものも多いので、月2回から3回に減らしてもらえないか。賀茂郡内の他の町では月2回である。

(総務課長) 細かな情報を提供するため、現在の数になっっている。今後、区長会などでも相談しながら、よりよい形を検討したい。

(企画観光課長) 現在町では、公式LINEから広報などの情報発信を始めている。今後、改良しながら発信していく。

○松崎町は県内で一番人口の少ない町だが、宿泊施設伊豆まつぎ荘、長八美術館、重文岩科学校、道の駅花の三聖苑と住民として誇れる施設がある。更に大切な文化財である旧依田邸は、町の一番大きな財産であると思う。この旧依田邸の今後の方向性を教えてください。

(町長) さまざまな施設の維持管理がある中で、旧依田邸をどうしていくかは非常に悩ましいところである。

修繕をどうするか、管理運営をどうするかなど、人がいないお金がない中で考えていかなければならない。民間からの投資を引き込むことも検討したい。いろいろな方の意見を聞きながら方向性を見いだしていきたいと思っっているの、ご協力いただきたい。



▲5月17日 環境改善センター

この他にも、たくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただきましたご意見などは、今後の町政に反映させられるよう努めてまいりますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】
企画観光課(42)3964